

2020年度新人オリエンテーション

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

災害リハビリテーションとは

被災者・要配慮者などの災害関連死や生活不活発等を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建、復興を支援する活動の全てをいう。

(2019. 4 JRAT)

災害時におけるリハビリテーション支援

被災地域において、必要なリハビリテーションに関する知識の提供や具体的な実施指導等を通して、被災者の生活不活発病(廃用症候群)予防、ならびに被災後、身体機能が低下したものへの回復支援を目的とする。

「災害時理学療法(士)支援活動の記録」より一部改変



対象 = 災害時要配慮者(災害時要援護者とは)

高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人等「ひとりでは災害に対する備えや,災害時に避難行動などが困難で,被害を受けやすい障害者や高齢者,特殊な病気の方など,日頃から周りの支援や手助けを必要としている人」



C (Child) 子供

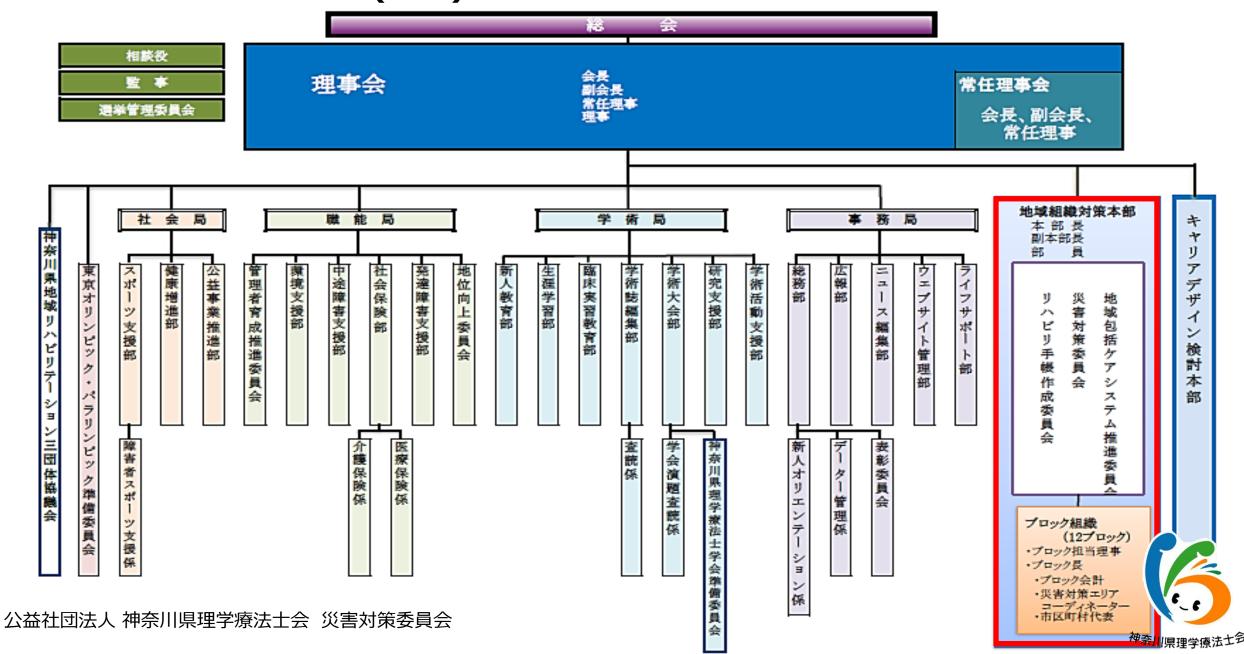
H (Handicapped person) 障がいを持った人

E (Elderly People) 老人

C (Chronically ill) 慢性疾患(透析·糖尿病etc)

T (Tourist) 旅行者(外国人を含む)

(公社)神奈川県理学療法士会組織図





(公社)神奈川県理学療法士会 地域組織対策本部

(公社)神奈川県理学療法士会

地域組織対策本部

リハビリ手帳作成委員会

・リハビリ手帳の普及-運用

災害対策委員会

- ·災害対策研修会
- ・地域ブロックにおける 災害対策キャラバン
- ・災害対策ブースの出展
- ·講師派遣

地域包括ケア推進委員会

- ・地域包括ケア推進リーダー研修
- ・介護予防推進リーダー導入研修
- ·地域支援事業講習会



(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

Kanagawa Physical Therapy Association Committee of disaster measures

Smile for Japan その時 私たちにはできることがあります



facebook

https://www.facebook.com/

pages/Kanagawa-Physical-Therapy-Association

HP

http://pt-kanagawa-saigai.com/



(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

Kanagawa Physical Therapy Association Committee of disaster measures

- ・災害時支援活動基本指針(ガイドライン),災害対策本部規定 各種規定の作成
- ・災害対策委員会HP・Facebookページの運用 広報および災害時の情報提供
- ・研修会・勉強会の開催 1) 災害対策研修会 2) 災害対策キャラバン 3)講師派遣事業
- ・2次医療圏域 災害時の連絡・調整担当(エリアコーディネーター)の選出



下田栄次, 隆島研吾:県士会(公益法人)の地域・防災システム構築と理学療法・士の役割. PTジャーナル.2015; 49:205-212



災害対策研修会(年1回) 生活環境支援におけるリハビリテーションとの連携について

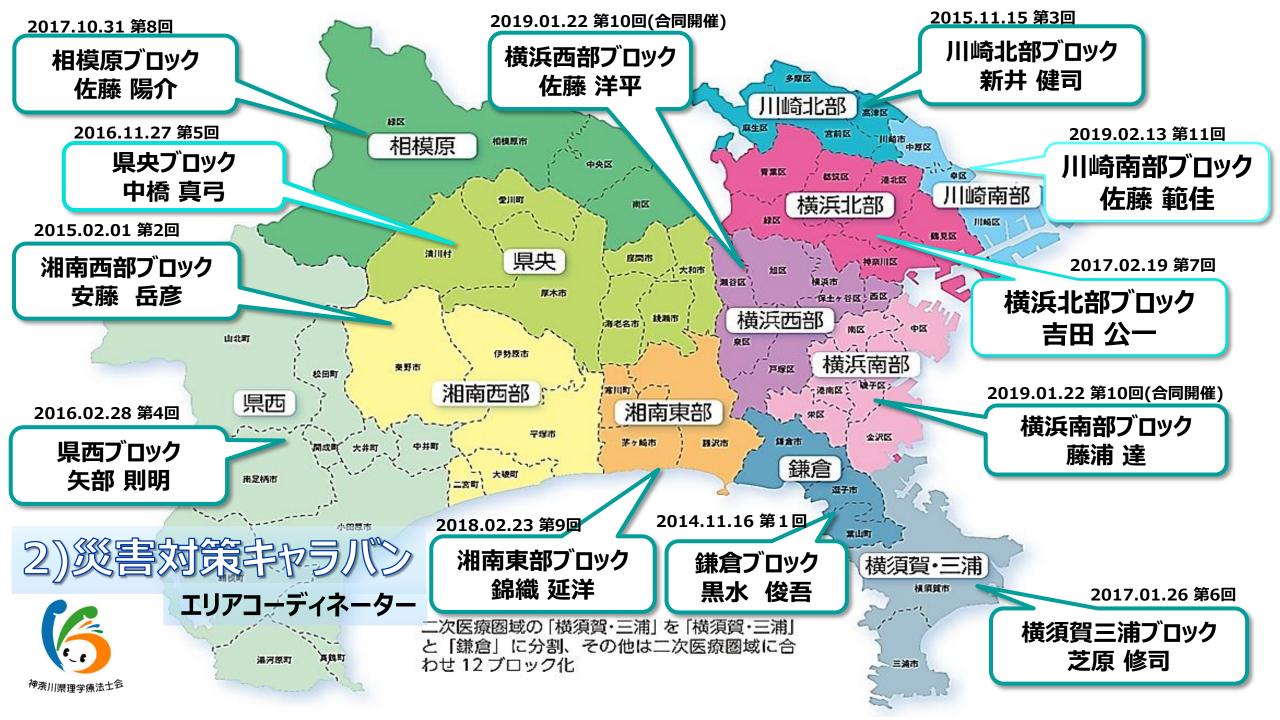




災害対策本部立ち上げ演習機能を使うない。(ロジステイツクス研修)

災害対策本部におけるロジスティックスの役割と 行政や災害医療チームとの情報共有や連携について





ブロック名	市区町村				
横浜北部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区				
横浜西部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区				
横浜南部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区				
川崎北部	高津区、宮前区、多摩区、麻生区				
川崎南部	川崎区、幸区、中原区				
相模原	緑区、中央区、南区				
横須賀・三浦	横須賀市、三浦市				
鎌倉	鎌倉市、逗子市、葉山町				
湘南東部	藤沢市、茅ケ崎市、寒川町				
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町				
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村				
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町				

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

会員 口会員向けサービスの充実

・地域での会員ネットワークの強化

顔の見える、声の聞こえる関係づくり

神奈川県理学療法士会

- 会員が必要とする地域の情報の共有
- 市町村からの依頼に対する迅速な対応
- 郡市医師会など地域の諸団体との連携強化
- 地域での勉強会の活性化
- 業務支援(患者情報のスムースな流れ) ・就労支援
- ・ 災害時の被災会員支援

県 民 □理学療法士によるサービス提供の充実

- 地域全体で住民を支える急性期より人生の幕引きまでのシームレスな患者対応
- 地域包括ケアシステムでのサービス提供
- ・災害時の避難者の二次的障害予防活動
- 安心して暮らせる生活支援(スポーツ含む)

本会活動の活性化に向けたブロックの役割



かながわ災害福祉広域支援ネットワーク

目的

災害の発生に備え、神奈川県と関係団体等と協働し、大規模災害時における高齢者や障がい者など特に配慮を要する者(災害時要配慮者)支援として設置された。

平成28年7月発足 平成30年度より参画

【構成団体】

- ■神奈川県介護支援専門員協会
- ■神奈川県高齢者福祉施設協議会
- ■神奈川県社会福祉士会
- ■神奈川県知的障害福祉協会
- ■神奈川県老人保健施設協会
- ■横浜市福祉事業経営者会

- ■神奈川県介護福祉士会
- ■神奈川県社会福祉協議会
- ■神奈川県身体障害施設協会
- **■** 神奈川県理学療法士会
- ■相模原市高齢者福祉施設協議会



かながわ災害福祉広域支援ネットワーク

【平時の活動】

連絡会・会議の開催、研修会、福祉避難所調整本部設置訓練、派遣訓練等の実施災害派遣福祉チーム編成の検討 人材把握・人材育成

【災害時の取組】

災害派遣福祉チームの編成

被災市町村等からの派遣要請または県の判断により、構成団体の介護職員等から派遣

職員を調整した上で派遣 事務局:県社会福祉協議会

<mark>派遣基準</mark>:災害救助法が適用され、または適用される可能性があると認められる程度

の災害が発生した場合(原則として県内)

派遣先:福祉避難所、社会福祉施設、(一般)避難所等

災害フェーズと医療チームの活動時期

フェーズ	第1期	第2期	第3期	第4期
期間	発災~72時間	4日~1ヶ月	2ヶ月~6ヶ月	6ヶ月以降
過程	被災混乱期 (救急救命期)	応急修復期	復旧期	復興期
被災地状況	ライフライン破綻 医療機能困難 避難所避難	ライフライン復活 支援物資確保 避難所管理運営 福祉避難所の検討	避難所集約化 福祉避難所の調整 福祉避難所管理運営 応急仮設住宅の調整	避難所閉所 福祉避難所集約化 応急仮設住宅への移行 地域サービスへの移行
災害医療	救命·救助	医療救護 公衆衛生支援	仮設診療 巡回診療	地域医療再生
支援チーム	~ .	JMAT JRAT JDA-DAT 建学療法士会 八関連職能団体	かながわ災害福祉 広域支援ネットワーク	かながわ災害福祉 広域支援ネットワーク

DMAT: Disaster Medical Assistance Team (災害派遣医療チーム)

DHEAT: Disaster Health Emergency Assistance Team (災害時健康危機管理支援チーム)

DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team (災害派遣精神医療チーム)

JDA-DAT: Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team (日本栄養士会災害支援チーム)
JRAT : Japan Rehabilitation Assistance Team (大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)